※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	（学）家庭基礎演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	図説　家庭基礎　（実教出版）						
副教材等	LIFE　おとなガイド　デジタル＋（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう。

・生活の様々な現象や課題をグループワークや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。
　友だちの考えを知り、多様な考え方･価値観に気づき、自分の考えをもちましょう。
・実践的･体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けましょう。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざしましょう。

２　学習の到達目標

1年次家庭基礎の内容をさらに深め，生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1 ）　衣食住，消費生活・環境、共生などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。

（2 ）　家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。

（3 ）　様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な衣食住、消費生活、環境、共生などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し，実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭，地域の生活を創造し実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	衣生活	・衣服素材の種類,繊維の種類と特徴,衣服素材の性能について理解し,用途に応じた素材の選択ができるようにする。 ・衣服の加工技術について理解する。	a：繊維の種類と特徴と用途を理解している。織物・編物の種類や構造を理解している。	小テスト 作品	作品	振り帰りシート
		・被服製作実習を通して,衣服の構成や基礎的な縫製技術を身に付ける。	a：衣服製作実習を通して，材料の選択,日常の管理の方法を習得するとともに,基礎的なミシン縫い・手縫いなどの縫製技術を身に付けている。 b:材料選び,ポケットの位置などにおいて自分らしさを表現することができる。 c：衣服実習において，製作活動に意欲的に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返りシート
2学期	食生活	・食事摂取基準,食品群別摂取量などを用い,家族の献立作成を行う。	a：栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら,家族の献立を作成することができる。 b：栄養の機能と食品のかかわり,また食品の特性と調理との関係において,科学的な思考を身に付け，食品選択，栄養計算や献立作成など,実際の食事づくりにむけての判断ができる。	献立作成	献立作成	レポート
		・調理を通して,基礎的な技術を身に付け,食事マナーを実践する。	a：調理実習を通して，日常の食事づくりに必要な調理技術を身に付け,献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる。 b：調理実習において，作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 c：調理実習においては，積極的に参加し，取り組もうとしている。	実習内容	実習内容	レポート

※令和４年度以降入学生用

	住生活	・生活と住まいの機能とのかかわりについて考える。 ・気候風土と住まいとの関係，そこでの人間の営みとの関係を考える。 ・室内環境と健康のかかわりを考える。 ・快適な室内環境について，日照・採光,通風・換気,騒音，冷暖房などの要素を学ぶ。	a：住居の機能や気候・風土とのかかわりに関心を持ち，各地の気候・風土に適した住まいを理解している。	小テスト 作品	作品	振り返りシート
		・ライフステージによる住まいの変化について考える。 ・快適な住まい方を考え，平面計画を立てる。	a：家族構成やライフステージなどとのかかわりから，平面図を読み取ることができる。 住まいの文化や機能・役割，またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 b：ライフステージと住空間の設計の関係，住宅政策や住環境との関係について考えを深めることができる。 c：住まいの文化や機能，住空間の計画や住環境について関心をもち，快適な住まいづくり，よりよい住生活の創造にむけて意欲的に取り組もうとしている。	小テスト 作品	小テスト 作品	ワークシート
3学期		・住宅模型/間取り図・コラージュの作成	a：住む人のライフステージや生活動線、好み等を考慮した住宅計画を立て、平面図を作成することができる。また、そこから住宅模型/間取り図・コラージュの作成することができる。 b:住む人のライフステージや生活動線、好み等を考慮したデザインや平面計画を、住宅模型/間取り図・コラージュの作成で表現することができる。 c：住宅模型/間取り図・コラージュの作成に意欲的に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		・災害情報の入手方法，安全への備えとして必要なことを考える。 ・誰もが安全に住むための工夫を考える。 ・Cross Activity（災害用炊飯，簡易スリッパ等）	a：住まいの安全対策，住まいにおける健康管理などについて理解している。 b：・安全な住まいづくりや，快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ，その課題解決のための方策を考えることができる。 ・暮らしやすい住まいについて，住空間だけでなく，周りの環境とも関係していることを、レポート等で表現できる。 c：Cross Activity（災害用炊飯，簡易スリッパ等）に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	振り返りシート
	環境	・持続可能な社会の構築にむけて、衣食住生活における課題を見つけ、課題解決のためのアイデアや技術について調べ、考察し、プレゼンを行う。	a：SDGs について理解を深め、現在の日本の衣食住生活の課題について理解し、問題提起できる。 b：快適な衣食住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ，その課題解決のための方策を考えることができる。それらをスライドを通して表現できる。 c：調べ学習や発表に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート スライド作品	ワークシート スライド作品 発表内容	振り返りシート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度